

(Daily 日本史) ～蝦夷地～

【問】 2003 年 慶應義塾大学 文

次の文章の空欄(A～E)に該当する適当な語句を記入しなさい。

14 世紀には若狭の小浜，越前の敦賀と津軽の(A)とを結ぶ日本海交易が盛んとなり，鮭や昆布，毛皮などの北海の産物が京都にもたらされるようになった。また，それに伴い，津軽海峡を渡り，北海道の南部沿岸に港や館を中心にした居住地を築く人々もあらわれ，その中の有力者たちが，津軽の豪族(B)氏の支配のもと館主に成長していった。しかし，こうした和人達の進出は，古来北海道に居住していたアイヌ達との間に軋轢も生んだ。1457 年，大首長(C)を中心に蜂起したアイヌ達により，和人の館はつぎつぎと攻め落とされた。この蜂起を鎮圧したのが，(D)の有力館主であった蠣崎氏であり，以来蝦夷地南端の支配権を握ったこの一族は，江戸時代には(E)氏と改姓し蝦夷地を支配する大名となった。

【解答】

A 十三湊

B 安藤(安東)

C コシヤマイン

D 上之国(上ノ国)

E 松前